

VR体験型安全衛生教育システム「Tc-VOW」

VR体験型安全衛生教育の目的

VR体験型安全衛生教育は現実には体験できない災害事故を疑似体験することで、何が問題で被災したのかを自ら考え、体験者の安全意識を喚起させます。



体験内容

墜落・転落災害



建設機械・クレーン等災害



崩壊・倒壊災害



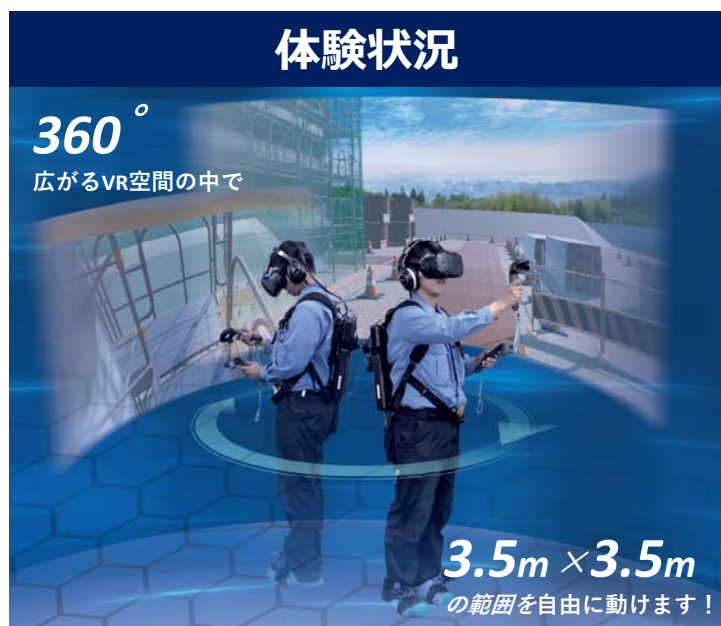
体験者はVR空間で現実空間と同様の作業をし、もし不安全行動をとった場合には災害事故を疑似体験します。

建設業における3大災害「墜落・転落災害」、「建設機械・クレーン等災害」、「崩壊・倒壊災害」を体験する事ができます。現場に合わせたVR安全教育を作業員に受けさせることができます。

体験内容	体験時間
墜落・転落災害	10(分/人)
建設機械・クレーン等災害	15(分/人)
崩壊・倒壊災害	15(分/人)

- ・体験時は専用の機器を使用します
- ・体験時には3.5m×3.5mのスペースが必要となります

体験状況



※ 体験時はショッキングな映像が流れます。また、ご覧頂く映像によっては転倒の危険がございますが、スタッフが怪我を発生させないようにしっかりとお支えいたします